

宇商同窓会報

題字 元会長 佐藤和三郎

発行人：栃木県立宇都宮商業高等学校
同窓会長 和氣幸雄
栃木県宇都宮市大曾3-1-46
TEL 028(622)0488
FAX 028(627)7871
編集人：宇商高同窓会 事務局
印刷所：下野印刷株式会社
TEL 028(622)6953

第46号

令和3年
5月21日

御挨拶

同窓会報によせて

同窓会会長 和氣 幸雄



このたび、新型コロナウイルスにより亡くなられた方々には、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族様にお悔やみ申し上げます。また罹患された方、そのご家族様、感染拡大により生活に影響を受けている方々には心よりお見舞いを申し上げます。

同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため、格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

母校は、今年、創立120年を迎えることができました。明治35年（1902年）に商業補習学校として開設以来、大正、昭和、平成、令和と時代の流れとともに県の商業教育の中心校としての役目を果たしており、幾多の有為な人材を世に送るなど、県の経済界をはじめ様々な分野において多くの同窓生が活躍されてきました。そんな歴史と伝統のある母校も来年度は、創立120周年式典を迎えます。記念行事を催すために、同窓会一同、一丸となって準備を進めている次第でございます。皆様からの御協力を賜ることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

昨今、世界中で新型コロナウイルス感染症拡大の影響の煽りを受けております。同窓会としても、昨年度は総会をはじめ、すべての年中行事を中止とさせていただきます。今年度はすべての年中行事が無事に開催できることを切に願いますが、最近では変異した新型コロナウイルス感染者が広がっており、心配事は増すばかりです。行動の自粛等で同窓生の皆様も大変困難な状況にあると想像致します。マスク着用や手指消毒など、自ら感染を避ける行動を取りながら事態を打開し、一日でも早く夢と希望が溢れる平和な世に戻って欲しいと願っております。

現在母校では、同窓生の皆様が築いて参りました伝統と実績を着実に受け継ぎ、時代の変化に対応しながら、今後の日本を担う人材育成に努力していると聞き及んでおります。昨年度も同窓会後援による高度資格取得講座（簿記、情報、珠算）を実施し、多くの生徒が資格を取得するなど、素晴らしい成果をあげたと聞いております。同窓会といたしましても今後継続して支援を行い、在校生の育成に貢献したいと考えています。

さらに、同窓生の皆様には同窓会活動へのご理解とご支援をいただきたいと考えております。そして、若い世代の活力を加えて同窓会活動がさらに活発になることを期待しております。結びに、母校のさらなる発展と同窓生の皆様の御健康と御多幸を御祈念申し上げます。挨拶といたします。

ご挨拶

校長 池田 和久



さわやかな初夏の風が吹く季節となりましたが、同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校の発展のため物心両面にわたる多大なご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本校は今年度創立120年目を迎えることとなりました。一九〇二年（明治三十五年）九月に地域社会の要請を受け、県下初の商業学校、宇都宮市立商業補習学校として創設され、その後、明治・大正・昭和・平成、そして令和と校名変更や統合、定時制課程の設置など、幾多の変遷を経ながら栃木県の商業教育をリードし、地域産業を担う人材を育成してまいりました。卒業生の数も三万六千名を超え、地元宇都宮市をはじめ県内外の様々な分野で活躍されており、本校に寄せられる地域の期待は誠に大きなものがあります。今日においても、「情操豊かでたくましさ想像力をもつビジネスリーダーを育成する」ことを教育目標に、教職員が一丸となり生徒の指導に当たっております。在校生には先輩方が堂々と築きあげられた、本校の歴史と伝統の重みをしっかりと受け止め、宇商生としての自信と誇りを持ち、令和の時代に新たな歴史を刻んでもらいたいと思っております。

事務局よりお知らせ

～同窓会総会中止について～

新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐため、7月に予定していた令和3年度同窓会総会及び懇親会を中止いたします。詳細につきましては2ページでご確認ください。

昨年度に続き急遽、このような事態になってしまいご迷惑をお掛けしますがご理解をお願い申し上げます。

◆連絡先◆

〒320-0014 宇都宮市大曾3-1-46
宇商高 同窓会事務局
TEL 028-622-0488 FAX 028-627-7871

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校行事や部活動の大会が中止となり、同様に同窓会の行事も、総会をはじめ役員会や創立記念講演会等、その多くを中止や延期にせざるを得ない状況となるなど、これまで誰もが経験したことのないたいへんな一年でしたが、生徒は厳しい環境の中でも目標を見失わず、切磋琢磨しながら本当によく我慢をし頑張ってくれました。

三年生の進路状況は、就職試験が例年より一カ月遅いスタートとなりましたが、コロナ禍による求人減の影響もほとんど無く、内定率も高水準で推移し、最終的には就職を希望した生徒全員の進路が決定いたしました。大学入試についても、学校推薦型選抜等の受験により、福島大、明治大、中央大、法政大、同志社大、関西学院大、立命館大、武蔵大、明治学院大、國學院大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、東京経済大等の大学に合格しております。

また資格取得においては、全国商業高等学校協会主催各種検定試験三種目以上一級合格表彰者数が、昨年を上回る二六七名（卒業生の約97.5%）に上り、全種目となる九冠を達成した生徒も過去最多の十八名となり、何れも全国一位となりました。また、高度資格では、税理士試験簿記論、日商簿記一級、全経簿記上級等に合格者を出すことができました。

さらに部活動においても、多数の大会が中止となり実施された大会は僅かでしたが、その中で空手道部・レスリング部・バトントワリング部等が全国大会出場を果たし、また、定時制においても、バドミントン部が秋季の栃木県定通制大会個人戦で優勝・準優勝を飾るなど、多くの生徒が勉強や資格取得に励みながら部活動と両立させ頑張っております。

これからも、関係機関と連携しながら、将来の地域産業界を活性化できる人材の育成に努めるなど、地域の核となる学校づくりを推進してまいりますので、同窓会会員の皆様の変りぬくご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。